



いわて医療通信【腎臓を長持ちさせるには】

2 腎臓の機能を知るためには

今回は、腎臓について大まかに述べさせていたいただきました。では、自分の腎機能を手っ取り早く知る方法はないのでしょうか。それは、健康診断で血液検査と尿検査を受けることです。

前回、腎臓について大まかに述べさせていたただきました。では、自分の腎機能を手っ取り早く知る方法はないのでしょうか。それは、健康診断で血液検査と尿検査を受けることです。

腎臓の機能低下は、尿検査でクレアチニンが体中に溜まり、濃度が高くなります。最近の健康診断ではeGFRが

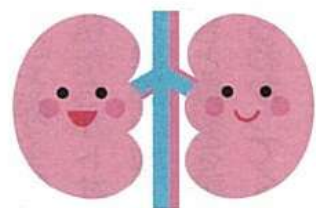
た結果(定性)で示されま
す。検尿異常のある場合に
は医師(かかりつけ医や腎
臓専門医)の診察を受けま
しょう。また、検尿異常が
なくても、eGFR45未満
の場合には医師の診察が
必要です。

血液検査で体にたまって
いる毒素の代表である「ク
レアチニン」を測定しても
らうと、年齢・性別から自
分の腎機能(推定糸球体濾
過量「eGFR」)を計算で
求めることができます。

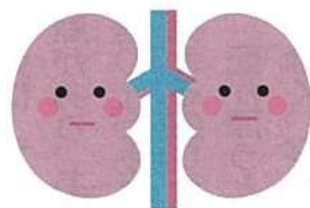
また、尿検査では特に尿
蛋白と尿潜血が重要で、こ
れらが出ていることを「検
尿異常」と呼びます。健
診では1+, 2+といっ

た結果(定性)で示されま
す。検尿異常のある場合に
は医師(かかりつけ医や腎
臓専門医)の診察を受けま
しょう。また、検尿異常が
なくても、eGFR45未満
の場合には医師の診察が
必要です。

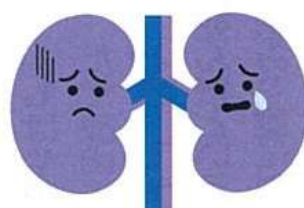
①糖尿病や高血圧、肥満な
どの生活習慣病
②腎臓自体の病気(IGA
腎症を代表とするさまざ
まな腎炎・腎症など)
③加齢



eGFR>90~60
正常~軽度低下



eGFR>60~45~30
軽度~中等度低下~高度低下



eGFR>30~15~
高度低下~末期腎不全

講師 吉川和寛

岩手医科大学
医学部内科学講座

腎・高血圧内科分野